

4 大麦

(1) 国際的な大麦需給の概要

○2008/09年度の大麦需給（予測）のポイント

大麦の供給面では、6月までの天候が順調に推移したことなどから、世界的な生産量の増加が見込まれている。

需要面では、生産の拡大ととうもろこし価格の高騰の影響を受け、飼料用需要の回復が見られ、消費量の増加も見込まれている。

期末在庫量については、4年ぶりに生産量が消費量を上回ることから在庫の積み増しが行われると見込まれる。

【生産量】

生産量は、価格高騰による世界的な増産意欲やこれまでの天候が比較的良好に推移したことから、昨年の干ばつや天候不順による単収低下も回復し、EU、ロシア、オーストラリア等の主要生産国で増産が見込まれ、世界全体では前年度より8.8百万トン増加（6.6%）し、142.7百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.6百万トン上方修正されており、国別にはEUが良好な天候等を反映して上方修正されているが、カナダでは小麦・大豆の作付拡大の影響を受け下方修正されている。

【消費量】

消費量は、飼料用需要を中心にEU、ロシア、カナダ等主要消費国で増加が見込まれ、世界全体では前年度より3.0百万トン増加（2.2%）し、141.4百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.2百万トン上方修正されており、国別にはEU等が飼料用需要を中心に上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量（輸出货量）は、3.8百万トン増加（26.1%）し、18.4百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では生産の回復が見込まれているウクライナ、オーストラリア、ロシアで輸出货量の増加が見込まれている。一方、輸入国では、サウジアラビアで輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界で0.4百万トン上方修正されている。国別にはロシア、アルゼンチンの輸出货量、サウジアラビアの輸入量が上方修正されており、カナダでは輸出货量が下方修正されている。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量の増加等を反映し、4年ぶりに生産量が消費量を上回ることから、EU、米国、オーストラリア等で積み増しされ、世界全体では前年度より1.2百万トン増加（7.9%）し、17.4百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は12.3%（0.7ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン下方修正されており、国別には米国、ロシアが下方修正された。

表－1 世界の大麦需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	137.5	133.9	142.7	0.6	6.6
EU-27	56.2	57.9	60.8	0.8	4.9
ロシア	18.1	15.7	17.5	-	11.8
カナダ	9.6	11.0	10.0	▲ 0.5	▲ 9.1
ウクライナ	11.4	6.0	10.5	-	75.0
オーストラリア	4.3	5.9	8.5	-	43.6
トルコ	7.5	6.5	6.2	-	▲ 4.6
米国	3.9	4.6	4.7	▲ 0.4	2.8
消費量	145.2	138.4	141.4	1.2	2.2
うち飼料用	101.1	94.4	96.1	1.1	1.8
EU-27	55.9	54.4	55.3	0.8	1.7
ロシア	16.4	15.3	15.9	-	3.9
カナダ	10.2	8.6	8.9	▲ 0.2	2.9
トルコ	7.3	7.0	6.7	-	▲ 4.3
サウジアラビア	6.8	6.8	6.7	0.3	▲ 1.5
ウクライナ	6.5	5.6	6.0	-	6.6
米国	4.6	4.4	4.6	▲ 0.0	4.4
貿易量	15.3	14.6	18.4	0.4	26.1
(輸出)					
EU-27	3.5	4.0	4.5	-	12.5
ウクライナ	5.1	0.7	4.5	-	542.9
オーストラリア	1.9	2.5	4.0	-	60.0
カナダ	1.2	2.9	1.2	▲ 0.4	▲ 60.3
ロシア	1.5	1.1	1.6	0.3	52.4
サウジアラビア	0.6	1.2	0.8	-	▲ 33.3
アルゼンチン	0.5	0.8	1.2	0.4	43.8
(輸入)					
サウジアラビア	6.7	5.8	6.8	0.3	17.2
日本	1.4	1.4	1.4	-	3.7
中国	1.1	1.2	1.3	-	8.3
イラン	0.4	0.5	1.2	-	140.0
モロッコ	0.4	0.7	1.0	-	42.9
シリア	0.3	0.3	0.9	-	183.3
チュニジア	0.7	0.5	0.7	-	40.0
期末在庫量	20.6	16.2	17.4	▲ 0.5	7.9
EU-27	5.6	5.3	6.4	-	20.5
米国	1.5	1.5	1.5	▲ 0.2	4.2
オーストラリア	1.3	1.1	1.7	0.0	56.7
サウジアラビア	2.4	1.4	1.5	-	6.4
ロシア	1.2	0.7	0.9	▲ 0.4	27.5
カナダ	1.5	1.0	1.1	-	9.7
ウクライナ	1.0	0.7	0.7	-	3.7
期末在庫率	14.2%	11.7%	12.3%	▲ 0.4	0.7

資料：USDA「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、

「PS&D (July 2008)」

注：1) 年度区分は、生産量、消費量、期末在庫量は各国市場年度（末）の計（見込みあり）、貿易量は2008/09年度であれば2008年10月から2009年9月である。

(2) 大麦の主要生産・輸出国等の需給状況

ア オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、2年連続の干ばつによる減産から回復し、単収が増大した結果、生産量は前年度より2.6百万トン増加（43.6%）し、8.5百万トンとなると見込まれている。

消費量は、飼料用大麦の増加の影響を受け、0.2百万トン増加（6.8%）し、3.9百万トンとなる見込みである。

輸出量は、1.5百万トン増加（60.0%）し、4.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫は21.0%（3.8ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂としては、期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

天候に関しては、4月から6月上旬にかけての降水量が十分であったものの6月末から降水量が減少しており、オーストラリア西部では乾燥が続いている。2008/09年度の見込みは、十分な降水があることを想定しており、降水量によっては生産量が大きく変動する可能性がある。引き続き天候に注視が必要である。

イ カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、単収が前年度より上昇すると見込まれるものの、収穫面積が小麦と大豆の作付拡大の影響を受けて減少することから、前年度より1.0百万トン減少（▲9.1%）すると見込まれている。

消費量は、飼料用大麦の消費が0.2百万トン増加（2.1%）したことなどを受け、消費量全体は前年度より0.3百万トン増加（2.9%）し、8.9百万トンとなる見込みである。

一方、飼料用大麦の輸出が大幅に減少したことにより、輸出量は前年度より1.7百万トン減少（▲60.3%）すると見込まれている。

この結果、期末在庫量が0.1百万トン増加（9.7%）し、1.1百万トンとなる見込みであり、期末在庫率も11.4%（2.4ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂として、収穫面積の下方修正を受け生産量、輸出量が下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダ南西部の穀物産地の大部分では、6月の気温は平年よりも低く、雨が少なかったため作物の生育が心配されたが、7月の気温はカナダの西部全体で平年をかなり上回っており、単収の増大が見込まれる。一方、北部地域は降水量が少なく、生育状況に影響が出る可能性がある。今後も主要産地の天候に注視が必要である。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース41.0%）
世界の生産量シェア 5位（2008/09年度 6.0%）
輸出量シェア 3位（2008/09年度21.7%）

表-2 オーストラリアの大麦需給（市場年度：11月～翌年10月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	4.3	5.9	8.5 (7.9)	-	43.6
消費量	3.8	3.7	3.9 (2.9)	-	6.8
うち飼料用	2.9	2.7	2.9 (2.6)	-	7.4
輸出量	1.9	2.5	4.0 (5.3)	-	60.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	1.3	1.1	1.7 (…)	0.0	56.7
期末在庫率	22.8%	17.2%	21.0% (…)	0.0	3.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.18	4.41	4.50 (4.48)	-	2.0
単収(t/ha)	1.02	1.34	1.89 (1.77)	-	41.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
ABARE「AUSTRALIAN CROP REPORT (June 2008)」

我が国の輸入先国シェア 3位（2007年数量ベース14.5%）
世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 7.0%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度24.5%）

表-3 カナダの大麦需給（市場年度：8月～翌年7月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.6	11.0	10.0 (9.9)	▲ 0.5	▲ 9.1
消費量	10.2	8.6	8.9 (7.7)	▲ 0.2	2.9
うち飼料用	8.9	7.3	7.5 (7.2)	▲ 0.1	2.1
輸出量	1.2	2.9	1.2 (2.3)	▲ 0.4	▲ 60.3
輸入量	0.0	0.1	0.1 (0.0)	-	100.0
期末在庫量	1.5	1.0	1.1 (1.1)	-	9.7
期末在庫率	13.0%	9.0%	11.4% (11.0%)	0.5	2.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	3.22	4.00	3.30 (3.3)	▲ 0.20	▲ 17.5
単収(t/ha)	2.97	2.75	3.03 (3.0)	0.03	10.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
AAFC「Grains and Oilseeds Outlook (July 2, 2008)」

ウ 米国

【需給状況】

米国の生産量は、前年度より0.1百万トン増加（2.8%）増加し、4.7百万トンとなる見込みである。

消費量は前年度より0.2百万トン増加（4.4%）し、4.6百万トンとなる見込みである。このうち、飼料用の増加分が0.1百万トンである。

輸出量は、前年度より0.4百万トン減少（▲39.6%）し、0.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫率は前年度より2.1%改善し、30.2%となる見込みである。生産量の増大、輸出量の減少が、消費量の増大を上回った結果である。

前月の予測からの改訂としては、単収予測の減少を受け、生産量の予測が0.4百万トン下方修正されている。また、期末在庫量は0.2百万トンの減少、期末在庫率は3.3ポイント低下した。

【生育進捗状況及び作柄】

米国の大麦の主要5州は出穂期を迎えているが、出穂率は過去5年の平均に比べ2ポイント（前年に比べ4ポイント）ほど進捗が遅れている。

また、作柄については、優良が7%と前年度の同時期や最終に比べ低くなっているものの、優良～普通までの合計では91%と前年度の最終の83%を上回っている。

〔我が国の輸入先国シェア2位（2007年数量ベース36.2%）
世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 3.3%）〕

表－4 米国の大麦需給（市場年度：6月～翌年7月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.9	4.6	4.7	▲ 0.4	2.8
消費量	4.6	4.4	4.6	▲ 0.0	4.4
うち飼料用	1.2	1.3	1.4	-	6.4
輸出量	0.4	0.9	0.5	-	▲ 39.6
輸入量	0.3	0.7	0.4	-	▲ 33.4
期末在庫量	1.5	1.5	1.5	▲ 0.2	4.2
期末在庫率	29.8%	28.1%	30.2%	▲ 3.3	2.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.19	1.42	1.47	0.02	3.5
単収(t/ha)	3.29	3.25	3.22	▲ 0.30	▲ 0.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」

○ 米国大麦の生育進捗状況及び作柄（7月20日現在）

〔生育進捗状況（主要5州）〕

出穂率 93%（平年差：▲ 2 p、前年差：▲ 4 p）

〔作柄（主要5州）〕

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
大麦	2008/09	7	51	33	7	2
	前年度同時期	11	56	20	7	6
	前年度最終	9	53	21	9	8

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA 「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は同時期の平年値（過去5年）及び前年同時期との比較である。

エ EU-27

【需給状況】

生産量は、前年度より2.9百万トン増加（4.9%）し、60.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用の消費増大により、前年度より0.9百万トン増加（1.7%）し、55.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン増加（12.5%）し、4.5百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.1百万トン減少（▲33.3%）し、0.1百万トンとなる見込みである。）

期末在庫量は、前年度より1.1百万トン増加（20.5%）増加し、期末在庫率は10.7%となる見込みである。これは、過去2年間を上回る水準である。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.8百万トン上方修正されている。また、飼料用の消費量も0.8百万トン上方修正されているため、期末在庫率の変動は小さく、0.1%下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

デンマーク、フィンランド、ドイツ、ポーランドでの乾燥状況が継続し、単収が低下している地域がある一方、スペインなど十分な降雨により単収が増加している地域もある。引き続き、主要生産地の天候に注視が必要である。

オ ウクライナ

【需給状況】

ウクライナの実生産量は、前年度より4.5百万トン増加（75.0%）し、10.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.4百万トン増加（6.6%）し、6.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より3.8百万トン増加（542.9%）し、4.5百万トンとなる見込みである。2年度前の輸出量は5.1百万トンであり、前年度の落ち込みから大幅に改善している。

輸出量の大幅な増大を受け、期末在庫率は前年度より4.0ポイント低下し、6.7%となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

南部地域での収穫がはじまり、予想された単収よりも多くの収穫が得られている。

【貿易情報】

輸出量の枠が設定されていたが、2008年5月に撤廃された。

（世界の生産量シェア 1位（2008/09年度42.6%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度24.5%））

表－5 EU-27の大麦需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	56.2	57.9	60.8 (61.5)	0.8	4.9
消費量	55.9	54.4	55.3 (54.0)	0.8	1.7
うち飼料用	40.0	38.5	38.8 (41.3)	0.8	0.7
輸出量	3.5	4.0	4.5 (6.9)	-	12.5
輸入量	0.2	0.2	0.1 (0.2)	-	▲ 33.3
期末在庫量	5.6	5.3	6.4 (5.5)	-	20.5
期末在庫率	9.5%	9.1%	10.7% (9.0%)	▲ 0.1	1.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	13.8	13.8	14.2 (…)	-	2.8
単収(t/ha)	4.06	4.18	4.27 (…)	0.06	2.2

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」
IGC 「Grain Market Report (26 June 2008)」

（世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 7.4%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度24.5%））

表－6 ウクライナの大麦需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	11.4	6.0	10.5 (10.0)	-	75.0
消費量	6.5	5.6	6.0 (…)	-	6.6
うち飼料用	4.8	3.9	4.3 (…)	-	9.4
輸出量	5.1	0.7	4.5 (3.4)	-	542.9
輸入量	0.0	0.1	0.0 (…)	-	▲ 50.0
期末在庫量	1.0	0.7	0.7 (…)	-	3.7
期末在庫率	8.3%	10.7%	6.7% (…)	-	▲ 4.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.20	4.10	4.20 (…)	-	2.4
単収(t/ha)	2.18	1.46	2.50 (…)	-	71.2

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」
「World Agricultural Production (July 2008)」
IGC 「Grain Market Report (26 June 2008)」

カ ロシア

【需給状況】

ロシアの生産量は、前年度より1.8百万トン増加（11.8%）し、17.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料量大麦の消費量が増えたことなどから、全体で前年度より0.6百万トン増加（3.9%）し、15.9百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.6百万トン増加（52.4%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

期末在庫量は、生産量の増大が消費量、輸出量の増大分を上回ったことから、0.2百万トン増加（27.5%）し、0.9百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は5.3%（0.9ポイント増）となる見込みである。

前月の予測からの改訂としては、北アフリカおよび中東での需要が増大したことを受け、輸出量が0.3百万トン上方修正され、その結果期末在庫率が2.1ポイント下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

春大麦の作付けが終了し、その後好天が続いている。大麦は順調に生育しており、単収の増加が見込まれている。引き続き主要生産地の天候に注視が必要である。

【貿易情報】

2008年7月1日まで、輸出税が賦課されていた。

（世界の生産量シェア 2位（2007/08年度12.3%）
輸出量シェア 4位（2008/09年度 8.7%））

表－7 ロシアの大麦需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	18.1	15.7	17.5 (18.0)	-	11.8
消 費 量	16.4	15.3	15.9 (...)	-	3.9
うち飼料用	11.8	10.7	11.3 (...)	-	5.6
輸 出 量	1.5	1.1	1.6 (1.4)	0.3	52.4
輸 入 量	0.2	0.2	0.2 (...)	-	0.0
期末在庫量	1.2	0.7	0.9 (...)	▲ 0.4	27.5
期末在庫率	6.8%	4.4%	5.3% (...)	▲ 2.1	0.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.00	9.80	9.60 (...)	-	▲ 2.0
単収(t/ha)	1.81	1.60	1.82 (...)	-	13.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Grain: World Markets and Trade (July 2008)」、
「World Agricultural Production (July 2008)」、
IGC 「Grain Market Report (26 June 2008)」